

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」（北九州市次世代育成行動計画） 15の施策の評価結果

目標	施策	柱	活動の状況					活動の評価	成果指標					成果の評価	施策の総合評価	
			大変順調	順調①	順調②	やや遅れ	遅れ		指標	R3年度参考	基準値	R4年度実績	基準値比			
1 安心して子どもを産み育てられるまちをつくる	(1) 母子保健の充実	① 安心して妊娠・出産できる仕組みづくり	0	10	0	0	0	1 24/24取組 100.0%	妊娠11週までの妊娠届出者の割合	増加	93.4%	91.7%	94.0%	2.3 pnt	2	B [指標の説明] *妊娠11週までの妊娠届出者の割合、妊婦健診受診率、生後4か月までの乳児家庭全戸訪問の割合、子どもの健診受診率とも、90%超の高水準を維持している。 [評価] >安心して子どもを産み育てられるよう、若年の妊婦や産後うつなど養育支援が必要な家庭に早期に関わる支援や妊産婦と乳幼児の健康管理など、妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援に取り組んだ。 [今後の方向性] >今後も、母子の健康保持・増進を図るとともに子育ての孤立化を防ぐため、関係機関と連携して地域での見守り体制を充実するなど、安心して子どもを産み育てられるまちをつくっていく。
			2	6	0	0	0		4か月	増加	98.3%	97.6%	98.2%	0.6 pnt	2	
			1	5	0	0	0		1歳6か月	増加	96.5%	95.9%	96.2%	0.3 pnt	2	
		3	5	0	0	0	3歳児		増加	93.9%	94.5%	94.2%	▲0.3 pnt	3		
		計	3	21	0	0	0		乳幼児健康診査未受診者フォローアップ率	維持	100.0%	100.0%	100.0%	達成	1	
	(2) 母子医療体制の維持・強化	① 周産期医療・小児救急医療体制等の維持・確保	0	2	0	0	0	1 3/3取組 100%	周産期医療、小児救急医療体制	維持	維持	維持	維持	達成	1	
			0	1	0	0	0		予防接種率（麻しん・風しん） 予防接種の接種率	維持	96.7%	95.6%	92.5%	▲3.1 pnt	3	
		0	3	0	0	0	計		0	3	0	0	0			
		0	2	0	0	0	② 子どもの感染症予防の推進		0	1	0	0	0			
		0	3	0	0	0	計		0	3	0	0	0			
2 子どもや若者が健やかに成長するまちをつくる	(3) 乳児・幼児期の教育や保育の充実	① 教育・保育の質の向上と量の確保	4	8	1	0	0	2 26/29取組 89.7%	幼稚園等に対する満足度（施設・環境、教育内容）							B [指標の説明] *保育所待機児童（10月時点）は、0人を5年連続で達成。 *幼稚園・保育所に対する満足度は、ほとんどの項目で、前年度より増加している。 *新型コロナウイルス感染拡大防止対策の緩和により、保幼小連携事業の活動を再開することができている。 [評価] >保育所の整備、認定こども園への移行支援、受入児童数の拡大を図り、年度当初と10月時点の待機児童0人を達成することができた。 >保育士・保育所支援センターの運営等を通じて保育士確保に努めた。 保育サービスコンシェルジュが各家庭のニーズに合わせ、きめ細やかな対応を行い、入所支援を行った。 >保護者の就労形態の多様化に対応するため、延長保育や一時保育、休日保育など多様な保育を提供するとともに、特別な教育的支援を要する幼児の就園先が確保できるように引き続き園に対して助成した。 [今後の方向性] >子どもの育ちを支え見守るために最適な保育環境を整備するとともに、教育・保育の内容の満足度を維持・向上していくためには、職員の配置や処遇の改善、職員の事務負担の軽減に、併せて取り組む。 >引き続き、継続的な待機児童の解消、満足度向上のため、ソフト・ハード両面から、幼児期の教育・保育の質のさらなる向上と量の確保に取り組む。 >幼児教育と小学校教育の円滑な接続のため、保幼小連携事業の強化・充実を図っていく。
			1	8	0	0	0		施設・環境	増加	88.6%	87.4%	91.0%	3.6 pnt	2	
		0	2	0	0	0	教育内容		増加	89.8%	90.4%	91.4%	1.0 pnt	2		
		0	2	0	0	0	② 幼稚園、保育所等における多様なニーズに対応した保育の充実		1	8	0	0	0			
		0	2	0	0	0	③ 幼稚園、保育所等と小学校の連携の充実		0	2	0	0	0			
		0	3	2	0	0	④ 幼稚園、保育所等における子育て支援の充実		0	3	2	0	0			
		5	21	3	0	0	計		5	21	3	0	0			
		0	2	0	0	0	幼稚園における学校関係者評価実施施設数		維持（全施設）	全施設（94施設）	全施設（94施設）	全施設（94施設）	達成	1		
		0	2	0	0	0	保育所及び地域型保育施設における児童福祉施設等第三者評価実施施設数		増加	3施設	5施設	10施設	達成	1		
		0	2	0	0	0	保育所待機児童数（4月・10月）									
0	2	0	0	0	4月	0人	0人	0人	0人	達成	1					
0	2	0	0	0	10月	0人	0人	0人	0人	達成	1					
0	2	0	0	0	保幼小連携事業を実施する保育所、幼稚園、小学校の割合	維持	84.7%	99.0%	88.5%	▲10.5 pnt	4					

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」（北九州市次世代育成行動計画） 15の施策の評価結果

目標	施策	柱	活動の状況					活動の評価	成果指標					成果の評価	施策の総合評価			
			大変順調	順調①	順調②	やや遅れ	遅れ		指標	R3年度 参考	基準値	R4年度 実績	基準値比					
2	(4) 放課後児童の健全育成	① 放課後児童クラブの環境整備	0	3	0	0	0	1	放課後児童クラブの利用を希望する児童の受け入れ	100%	100.0%	100.0%	100.0%	達成	1	<p>A</p> <p>[指標の説明] *クラブの利用希望に対する受け入れは100%を達成。 *クラブの満足度は、施設・環境、開所時間等いずれも上昇している。</p> <p>[評価] >放課後児童クラブの利用を希望する児童を全学年で受け入れた。 >放課後児童クラブに対する満足度は、保護者の満足度が約7割から8割となっているが、補足調査として小学生を対象に行ったアンケートでは、89.5%が「クラブは楽しい」と回答しており、子どもが健やかに成長できる環境が維持されていると考えている。</p> <p>[今後の方向性] >放課後児童クラブの施設整備や利用内容の充実など、引き続き必要な環境整備に取り組む。 >放課後児童支援員に対する研修に加え、巡回カウンセラーやアドバイザーの巡回・派遣等を行い、運営の強化や質の向上に取り組む。</p>		
			0	2	0	0	0		5/5取組	施設・環境	増加	69.2%	61.8%	72.0%	10.2 pnt		1	
		0	2	0	0	0	100%	開所日・開所時間	増加	80.8%	74.3%	83.8%	9.5 pnt	2				
		計	0	5	0	0		0	運営内容に関する自己評価実施クラブ率	増加	100.0%	—	100.0%	達成	1			
	(5) 地域における子どもの居場所づくり	① 子どもの遊び環境の充実	0	3	0	1	0	2	子どもの遊び場や公園に対する満足度	増加	61.6%	53.5%	59.2%	5.7 pnt	2		<p>B</p> <p>[指標の説明] *遊び場や公園の満足度は増加。 *子育てふれあい交流プラザ、子どもの館の満足度は増加。 *子ども食堂の開設数は増加。</p> <p>[評価] >子育て支援施設等への来場者数は昨年度に比べ増加し、回復傾向にある。 安全に配慮した公園整備や、子どもの館など屋内の遊び場の提供などにより、満足度を維持していると考えている。</p> <p>[今後の方向性] >より魅力のある子育て支援施設の運営に取り組んでいくとともに、遊具やトイレ等の充実を求める声もあり、安心して子どもが遊べる場の提供ができるよう、公園・道路等の整備・改善も図っていく。</p>	
			0	3	0	1	0		8/10取組	子育て支援施設（子育てふれあい交流プラザ、児童館）の満足度	維持	100.0%	99.8%	99.9%	0.1 pnt			2
			4	1	0	0	1			子どもの館	維持	99.6%	98.2%	99.3%	1.1 pnt			2
		② 地域団体、NPOとの協働等による子どもが主役の居場所づくり	4	1	0	0	1	80.0%	児童館	維持	94.1%	92.5%	96.0%	3.5 pnt	2			
		計	4	4	0	1	1		市内における子ども食堂の開設数	増加	42か所	30か所	52か所	22か所増	1			
	(6) こころの教育、体験・学習機会の充実	① 学校等におけるこころの教育の推進	1	3	0	0	0	2	人の役に立つ人間になりたいと思うと回答した児童生徒の割合								<p>B</p> <p>[指標の説明] *人の役に立つ人間になりたいと回答した児童数は、小学6年生、中学3年生とも増加。</p> <p>[評価] >新型コロナウイルス感染拡大対策が緩和され、青少年の家やユースステーション等の利用者が増加。昨年度に比べると体験活動などの機会を設けることができている。</p> <p>[今後の方向性] >今後も開催方法などを工夫しながら、体験活動等を通じた学びの機会の提供・充実を図っていく。</p>	
4			4	0	1	1	13/15取組		小学6年生	増加	95.4%	93.4%	95.1%	1.7 pnt	2			
0			1	0	0	0			中学3年生	増加	95.3%	93.5%	94.9%	1.4 pnt	2			
② 体験活動等を通じた学びの機会の提供・充実		4	4	0	1	1	86.7%	自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合										
0		1	0	0	0	小学6年生		増加	76.1%	78.9%	76.3%	▲2.6 pnt	3					
③ 児童文化科学館の移転新設（新科学館の整備）		0	1	0	0	0	20/22取組	中学3年生	増加	75.3%	73.7%	77.8%	4.1 pnt	2				
計		5	8	0	1	1		非行者率（暦年）	減少	4.1人	3.6人	3.7人	0.1人	3				
(7) 青少年の非行防止や自立・立ち直りの支援	① 非行を防止するための取り組みの推進	0	5	0	0	0	2	少年の再犯者数（暦年）	減少	96人	77人	61人	▲16人	1	<p>B</p> <p>[指標の説明] *非行者率は昨年度に比べ微増しているが再犯者は減少。 *協力雇用主登録者数は増加。 *いじめの解消率は高水準を維持。</p> <p>[評価] >非行者率は増加したものの、地域・学校・警察等と連携した取組を続けている。 >非行歴のある青少年の就職促進のため、福岡保護観察所と協働し、協力雇用主の拡充を図っている。 >いじめ・不登校等の問題については、確実な実態把握に努め、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置や関係機関との連携により、きめ細かな対応を行っている。 なお、いじめの解消率については、過去の実績を含め、把握している案件については高い水準で取り組まれている。</p> <p>[今後の方向性] >引き続き、関係機関等と連携し、子どもの成長を促す様々な体験の場を提供するとともに、青少年の健全育成が十分図られるよう、いじめの実態調査で把握に努め、必要な環境整備・支援に取り組む。</p>			
		0	4	0	0	0		100%	北九州市協力雇用主登録者数	増加	286社	262社	288社	26社		1		
		0	4	0	0	0			いじめの解消率									
		0	4	0	0	0		100%	小学生	100%	93.3% (R2)	99.4% (H30)	97.3%	▲2.1 pnt		2		
	0	4	0	0	0	中学生	100%		92.4% (R2)	98.8% (H30)	96.4%	▲2.4 pnt	2					
	② 非行からの立ち直りを支える取り組みの推進	0	4	0	0	0	20/22取組	長期欠席児童生徒数（1,000人あたり）										
		2	3	1	0	0		小学生	全国平均以下	24.1人 (R2)	全国平均14.5人 (R元)	34.3人	19.8人	4				
		2	3	1	0	0		中学生	全国平均以下	64.7人 (R2)	全国平均50.1人 (R元)	88.6人	38.5人	4				
	③ いじめや長期欠席（不登校）へのきめ細やかな対応	2	3	1	0	0	90.9%	「YELL」来所相談者の就業等実績	増加	24人	44人	49人	5	2				
		2	4	1	0	0		ひきこもりの人の自立に向けた支援段階が進んだ割合	増加	54.9%	51.7%	45.0%	▲6.7 pnt	3				
計		4	16	2	0	0												

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」（北九州市次世代育成行動計画） 15の施策の評価結果

目標	施策	柱	活動の状況					活動の評価	成果指標					成果の評価	施策の総合評価		
			大変順調	順調①	順調②	やや遅れ	遅れ		指標	R3年度 参考	基準値	R4年度 実績	基準値比				
4 子育ての喜び・楽しさを得られるまちをつくる	(12) 子育てを応援する体制	① 地域における子育て支援の環境づくり ② 子育てを支える人材の育成・活用 ③ 子育て家庭への経済的支援 ④ 市民が利用しやすい相談体制 ⑤ 子育てに関する情報が届く仕組みづくり・PRの強化 ⑥ 外国人市民の子ども・保護者への支援	計	3	14	3	1	0	2	ひとり親家庭 中学卒業後 高校卒業後	増加	97.3% 70.1% (R3)	96.5% 67.4% (H28)	97.3% 70.1% (R3)	0.8% 2.7% (R3)	2	[指標の説明] ＊子育ての悩みや不安を感じる人の割合が全体的に増加。 ＊子育てが楽しいと感じる人の割合は、就学前児童の保護者では増加している。 ＊子育てを支えてくれる人がいる人の割合は、就学前児童は増加しているが、中学・高校生の保護者では現象している。 ＊子育てに関して相談できる人がいる割合は、小学生の保護者では減少している。 [評価] > 子ども・家庭相談コーナーの相談件数は年間約7万～8万件と多く(令和4年度は80,760件)、関係機関と連携しながら、各家庭の状況に応じた支援・対応に努めてきた。 > 子育てに関して相談できる人(場所)がいる(ある)人の割合は、就学前の保護者で増加しており、幼稚園・保育所、親子ふれあいルームなどでの支援体制の充実が、良い結果につながっていると考えられる。 [今後の方向性] > 引き続き、子育ての悩みや不安を軽減することができるよう、相談の場や支援策のさらなる充実を図るとともに、その周知に取り組む。
			①	0	4	1	0	0		就学前	減少	41.0%	34.7%	44.3%	9.6 pnt	3	
			②	1	6	0	0	0		小学生	減少	44.4%	41.6%	47.6%	6.0 pnt	3	
			③	0	8	0	0	0		中学・高校生	減少	43.5%	38.8%	53.8%	15.0 pnt	4	
			④	1	3	0	0	0		子育てが楽しいと感じる人の割合	増加	92.3%	91.1%	92.2%	1.1 pnt	2	
			⑤	1	5	0	1	0		小学生	増加	86.3%	87.5%	88.5%	1.0 pnt	2	
			⑥	0	2	2	0	0		中学・高校生	増加	79.3%	86.5%	86.2%	▲ 0.3 pnt	3	
			計	3	28	3	1	0		31/35取組	88.6%						
4 子育ての喜び・楽しさを得られるまちをつくる	(13) 家庭の育児力・教育力の向上	① 子どもの健全育成の基礎となる家庭の育児力・教育力の向上 ② 基本的生活習慣の定着や食育の推進	計	4	7	1	1	1	2	朝食を「ほぼ毎日」食べる子どもの割合							[指標の説明] ＊朝食を毎日食べている就学前児童の割合は、増加。 ＊就寝時間が午後10時以降の就学前児童の割合は、減少。 ＊仕上げみがきをする保護者の割合は増加。 ＊保護者が絵本の読み聞かせをする頻度は就学前児童は減少、小学生は増加。 ＊子どもがテレビやインターネット上の動画サイトを見る時間は全体的に減少。 [評価] > これまでの啓発等の取り組みにより、食事等の基本的な生活習慣を身につけることの重要性が、家庭内でも浸透してきたと考えられる。 > 「子どもの話をよく聞いていると思う保護者の割合」には、小学生16.5%、中学・高校生22.3%であるが、「だいたい聞いていると思う保護者の割合」を含めると、小学生83.5%、中学・高校生85.7%と高い水準であり、親子の会話の頻度(毎日会話した割合)の高水準とともに、親子間のコミュニケーションが図られていることがうかがえる。 > 新型コロナウイルス感染拡大防止対策の緩和により、子どもの基本的な生活習慣の定着等様々な普及、啓発活動を徐々に再開することができている。 [今後の方向性] > 引き続き、基本的な生活習慣に加え、子どもの成長につながる親子関係づくり、家庭環境の充実に着目し、さらなる家庭の教育力向上に取り組む。
			①	2	5	1	1	0		就学前児童	増加	94.2%	93.7%	93.7%	0.0 pnt	2	
			②	2	2	0	0	1		小学6年生	増加	92.0%	92.3%	91.3%	▲ 1.0 pnt	3	
										中学3年生	増加	90.2%	90.3%	89.7%	▲ 0.6 pnt	3	
										就業時間が午後10時以降の就学前児童の割合	減少	26.5%	26.2%	25.7%	▲ 0.5 pnt	3	
										小学生	増加	22.2%	17.8%	16.5%	▲ 1.3 pnt	3	
										中学・高校生	増加	24.0%	25.5%	22.3%	▲ 3.2 pnt	3	
										親子の会話の頻度(「毎日会話した」割合)							
										小学生	増加	94.7%	92.4%	95.4%	3.0 pnt	2	
										中学・高校生	増加	85.6%	90.1%	93.3%	3.2 pnt	2	
										1歳6か月児/3歳児に仕上げみがきをする保護者の割合							
										1歳6か月児	維持	96.0%	95.5%	95.8%	0.3 pnt	2	
										3歳児	維持	97.8%	96.7%	98.2%	1.5 pnt	2	
										子どもに絵本の読み聞かせをする頻度(「ほぼ毎日」「週5,6日」「週3,4日」「週1,2日」の合計)							
						就学前児童	増加	68.2%	71.0%	68.1%	▲ 2.9 pnt	3					
						小学生	増加	23.4%	22.0%	22.6%	0.6 pnt	2					
						子どもがテレビやインターネット上の動画サイト等を見る時間											
						就学前児童 3時間以上	減少	10.9%	12.1%	10.9%	▲ 1.2 pnt	2					
						小学生 3時間以上	減少	17.1%	32.7%	21.4%	▲ 11.3 pnt	1					
						中学・高校生 3時間以上	減少	35.0%	55.6%	38.7%	▲ 16.9 pnt	1					
						計	4	7	1	1	1	11/14取組	78.6%				

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」（北九州市次世代育成行動計画） 15の施策の評価結果

目標	施策	柱	活動の状況					活動の評価	成果指標					成果の評価	施策の総合評価				
			大変順調	順調①	順調②	やや遅れ	遅れ		指標	R3年度参考	基準値	R4年度実績	基準値比						
	(14) 子育てと仕事との両立に向けた環境づくり	① 事業者等との共同による仕事と生活の調和の推進	0	2	2	0	0	2	仕事と生活の調和がとれていると思う人の割合	増加	66.2%	57.9%	62.7%	4.8 pnt	2	2	[指標の説明] *仕事と生活の調和がとれていると思う人の割合は、基準値に比べ増加。 *父母ともに子育てをしていると回答した人の割合は、基準値を上回っている。 [評価] >父親の家事参加率は前年度より増加しており父親の家事参加への意識に変化が表れてきていると考えられる。 >新型コロナウイルス感染拡大防止対策の緩和により、男女共同参画推進等の広報・啓発活動を徐々に再開することができている。 [今後の方向性] >引き続き、市民や企業等に対し、ワーク・ライフ・バランスの実践や育児参加を働きかけていく。 >子育てを「父母ともに」と回答した割合が5割程度であり、引き続き男性の家事・育児への参画を促進していく。		
			② 男性の家事・育児への参画促進	1	4	0	0		0	父親が家事をしている割合									
				③ 結婚・妊娠・出産を希望する方への支援	1	1	0		0	0	主に子育てをしているのが「父母ともに」と回答した人の割合								
					計	2	7		2	0	0	就学前児童	増加	69.9%	71.8%			74.3%	2.5 pnt
			9/11取組								小学生	増加	67.9%	67.6%	72.9%			5.3 pnt	2
81.8%							特定不妊治療の助成制度を知っている人の割合	増加	63.4%	41.8%	-	-	pnt	-					
5 子どもが安全安心に暮らせるまちをつくる	(15) 子どもの安全を守る環境整備	① 子育てにやさしい都市・住環境の整備	2	5	0	0	0	2	子育て世帯における誘導居住面積水準達成率（北九州市住生活基本計画(第2期)指標）	増加	—	36.7% (H30)	—	—	—	2	[指標の説明] *子どもと外出時に安心と感じる割合は、増加。 *刑法犯認知件数及び交通事故発生件数は減少。 *市民が感じる治安状況(体感治安)率は現象。 [評価] >小学生に対して行ったアンケートでは、外出時に「危ない」と思ったことのある子(43%)のうち、「車が通ったとき」が23.4%で最も多く、次いで「公園で遊んでいるとき」10.6%、「道を歩いているとき」(6.4%)、となっており、地域の治安・通学路を含めた生活環境など、外出時に安心と感じられるよう、改善が必要である。 [今後の方向性] >引き続き、都市・住環境の整備等を行い、子どもの安全対策に取り組む。		
			② 安全・安心を実感できる防犯・防災のまちづくり	3	8	2	0		0	市民が感じる治安状況(体感治安)	増加	84.1%	86.1%	86.0%	▲0.1 pnt			3	
				計	5	13	2		0	0	刑法犯認知件数	減少	5,109件	6,127件	5,452件			675件減	1
					18/20取組							子どもと外出時に安心と感じる割合	増加	48.6%	45.2%			46.5%	1.3 pnt
			90.0%								交通事故発生件数(暦年)	減少	4,074件	5,542件	3,949件			1593件減	1